



つかこうへいと筑豊研究会

No. 3

発行：つかこうへいと筑豊研究会
発行日：平成30年9月20日
問合せ先：090-4474-8051

三度目の「すかぶら忌」

つかこうへい氏は2010年7月10日、62歳の若さで亡くなりました。7回忌にあたる2016年7月10日の命日に、同級生やファンが集まり1回目のしのぶ会を嘉麻市の善照寺において開催。その後、「つかこうへいと筑豊研究会」を設立。

以来、つかこうへい氏の命日に嘉麻市の善照寺にて昨年は7月9日に、今年は7月8日に3度目となるしのぶ会「すかぶら忌」を開催しました。

今年も7月の豪雨を乗り越えて

昨年7月5、6日に福岡・大分を襲った九州北部豪雨後の9日に2回目の「すかぶら忌」の開催となりましたが、今年もまた奇しくも7月5日に北部九州を襲った豪雨は中国・四国・近畿地方など広範囲に甚大な被害をもたらした西日本豪雨の最中の8日に「すかぶら忌」の開催となりました。

当日は、前々日の豪雨で通行が

制限されるなか、心配をしましたが、福岡や田川などから万難を排して12人の方々にご参集して頂き、無事に「すかぶら忌」を開催することができました。

13時30分から善照寺の西原成之和尚に法要のお経をあげて頂き、その後、参加者全員が山田高校当時の学生服姿のつかこうへい氏の写真（元山田高校教授・永吉博義氏撮影）に手をあわせて、お焼香をして在りし日のつかこうへい氏を偲んでいただきました。

また今年が生誕70周年の記念すべき年。東京や大阪など各地で、つか作品の公演が行われており会としても大分公演観劇を予定。



法要後、ドキュメンタリー映画『抗い 記録作家 林えいだい』（1時間40分）を上映。

上映後、思い思いに映画の感想や意見の交換。田川市から駆けつけて来られた参加者の一人は、「林えいだいは田川の出身だから、田川でも上映してほしい」といった意見や、生前、林えいだい氏と懇意にしていたという参加者からは、お酒が大好きだったというえいだい氏が、行きつけのお店で客の誰とでも気さくに語らっていたという人柄などの紹介もあり、時間の経つのも忘れ話が弾みました。

また、6月の定例会で講演をいただいた森川登美江さん（福岡アジア文化センター所長・大分大学名誉教授）は、大学でアジア文学を担当されていた折に、記録作家・林えいだい氏のアラン文庫を訪ねたことから交流が始まったとのこと。

林えいだい氏は、特に筑豊炭鉱の強制労働者たちの取材をはじめ、北九州の公害問題、カネミ油症など主に日本社会の闇の部分を取材した日本を代表する記録作家とし



て知られています。森川さんは、林えいだい氏の取材に同行する中で、綿密な聞き取り調査をする取材姿勢や取り組み方に共鳴、人格に惚れて経済的支援など積極的にされました。えいだい氏亡き後はアラン文庫の貴重な資料の保存に取り生まれ、また記録映画『抗い』の上映を各地で開催されています。

★筑豊出身の作家たちと

「すかぶら」

因みに「すかぶら」とは、筑豊弁で、特に炭鉱労働者の間で使われた方言で「仕事をせずに、噂話やバカ話をしては周りの雰囲気や和ませて笑わせる「怠け者」という意味。

つかこうへい氏は、生前この「すかぶら」について、あらゆる場にいるんな人たちに面白おかしく語って聞かせています。

同じ筑豊は田川市に住み、自ら炭鉱労働者となり坑夫の話を書き書きました『地の底の笑い話』（最近岩波新書でアンコール復刊）の著者・上野英信氏も、その中で「1

秒後の生命の保証もない坑内労働のあいまいさに、折にふれて老坑夫たちの語る、懐かしい笑い話」を集めては、生き生きと炭鉱労働者を描いています。

記録作家の林えいだい氏と上野英信氏は、筑豊で炭鉱労働者の取材をしていたことから交流があり、お互いに炭鉱労働者の中でも強制労働者や炭鉱閉山後の労働者たちを追いかけて取材をしています。

上野英信氏や林えいだい氏よりも1回り若いつかこうへい氏も筑豊に生まれ、炭鉱で働く労働者たちに囲まれて育っています。明日の命の保証もない炭鉱労働者たちに笑いを振りまき、場を和ませる「すかぶら」の存在を、いろんな場で語り聞かせています。

筑豊が生んだ反骨精神旺盛な、偉大な三人の作家たちの共通点は、以外にも地底で命がけで労働をする環境の中でも労働者仲間たちを笑わせて「遊び心」や「ゆとり」を忘れなかった「すかぶら」の精神と共通するのではないかと思えてきました。

「つかこうへいさんのお話」ス

カブラ（2）」というブログの中で、「そもそも、私たちのやっている芝居というものは、社会や世の中における『遊び』のようなものだと思うのです」と、湯布院のある集まりで話していたことが語られています。

つかこうへい氏の命日に、世知辛い世の中でも「すかぶら精神」を大切に「すかぶら忌」をこれからも細々と続けていきたいと思っています。

『つかこうへい全集』を

筑豊地区の図書館、

高校・大学等に寄贈も

筑豊地区の図書館や高校・大学等へ出版社「エアクレーレン」様のご協力を頂き、『つかこうへい全集』（全3巻）を寄贈して頂くことが決定いたしました。

図書館巡りをしていて、つかこうへい氏の作品が少ないことに基づき、筑豊の人々につかこうへい氏の作品を読んで、作品に触れて

ほしいという思いから、「エアクレーレン」様にお話をしたところ、『つかこうへい全集』のご寄贈に、快くご協力をいただくことになりました。

現在、筑豊地区の図書館や学校に趣旨を説明し、『つかこうへい全集』の寄贈を希望される高校・大学を募る取り組みをしております。

（8月現在で寄贈が決定した図書館と学校）

嘉麻市

嘉麻市立嘉穂図書館

嘉麻市立山田図書館

嘉麻市立碓井図書館

飯塚市

飯塚市立図書館

田川市

田川市立図書館

桂川町

桂川町立図書館

大学・高校

近畿大学産業理工学部

福岡キャンパス

現在も筑豊地区の大学や貢献してきたことは紛れもない事実です。